

■整備イメージ(案)

◇配置前提条件

- ◆産業交流施設・ホテル・コンベンションは組み合わせの利用を想定するため、一体の街区に整備
- ◆北側の街区の方がより早期着手の見込みが高いため、こちらに優先度の高い施設(上記3施設)を配置
- ◆街区内の詳細の施設配置については、今後の進出希望事業者等の意向に対応しながら柔軟に対応

◇配置コンセプト(例)

I. 町の玄関としての顔づくり

- ◆産業交流施設を中心とした大野駅からの来町者に向けた顔
- ◆コンベンション・アーカイブズを中心とした大熊IC・大川原地区と繋がる町道西20号線に向けた顔

II. 人々の賑わいを創出する空間

- ◆駅から直接アクセスの歩行者空間でイベントを開催
- ◆アーカイブズ・交流機能等により駅前に立ち寄る機会を創出

III. 施設間の連携による回遊性と相乗効果

- ◆産業交流施設・ホテル・コンベンションホールの一体的な空間整備
- ◆歩行者を中心とした駅前空間整備

IV. 新しい街並みと故郷の調和

- ◆周辺既存市街地への接続を意識した動線計画
- ◆商店街や大野病院などの既存施設との調和を図る施設配置



100m

大野郵便局
老人福祉センター
大熊町
保育所

■施設イメージ

ホテル

- ◆ミドルグレードで出張・視察・帰町者に幅広く対応



ホテル蓬人館

アーカイブズ施設

- ◆町内文化財等を保管
- ◆復興ツーリズムの視察需要に対応



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

商店街店舗

- ◆長屋の小規模商業テナント



シーパルピア女川

コンベンションホール

- ◆会議を中心とした大規模催事対応
- ◆他施設利用者の小規模利用も対応



出典・J-VILLAGE HP

産業交流施設

- ◆廃炉関連企業を中心の事務所機能
- ◆廃炉情報等を展示・公開



出典:大熊町 生業づくり・生業育てのご案内

